

生物多様性緑化のための なごや地域在来植物 リスト

(なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドライン補足資料)



名古屋市

目次

本資料の使い方	1 ページ
---------------	-------

生物多様性緑化のためのなごや地域在来植物リスト

・【中高木】常緑樹	3 ページ
・【中高木】落葉樹	4 ページ
・【低木】常緑樹	6 ページ
・【低木】落葉樹	7 ページ
・地被類	9 ページ
・つる類	12 ページ

本資料の使い方

- 令和4年度に公開した「なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドライン」では、名古屋市内で生物多様性に配慮した緑化を進める上で重要な要素である在来種を「特におすすめの在来種リスト(56～60 ページ)」、「生物多様性を向上させる植物リスト(72～75 ページ)」として、以下の表の手順で選定、公開しています。
- 選定する際にまとめた根拠リストが、動植物や植物の特性などの情報が掲載されているため、市民・事業者(行政を含む)が庭等に植える植物を選定する際に活用できるリストとなっていることから、今回、整理して公開することとしました。
- 公開にあたっては、植物を選定しやすくするため、下表③のとおり、さらに広い範囲を抽出し、「**生物多様性緑化のためのなごや地域在来植物(略称:なごや地域在来植物)**」と命名し、本リストに掲載しました。
- 名古屋市内で緑化する植物を選定する際には、ぜひ本リストの活用をお願いします。

段階	選定作業	選定種数	資料名
①	造園業などで使われる植物のうち、在来種を抽出	415 種	—
②	名古屋市レッドリスト 2025 に掲載された種を除外(自生している絶滅危惧種と同種が植えられることで悪影響(遺伝的攪乱)が生じる可能性があるため)	365 種	—
③	・愛知県が整理した在来リスト「あいちグリーンデータブック」より「名古屋」、「名古屋近接部(北名古屋、清洲、尾張旭、長久手、日進)」を抽出 ・緑化の推進に好ましくない種(強毒種、世界/日本の侵略的外来種ワースト 100)を除外 ・有識者意見を踏まえ除外	「生物多様性緑化のためのなごや地域在来植物(略称:なごや地域在来植物)」 165 種	今回作成資料
④	「なごや地域在来植物」のうち、園芸店、造園業者から入手しやすい種を抽出	生物多様性を向上させる植物リスト(104 種) ※リストの再検討により、適さない種を除外	なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドラインに掲載
⑤	「生物多様性を向上させる植物リスト」のうち、 ・花や実がいきもののエサとなるなど、生きものを呼びこむ効果の高いもの ・都市の環境に適応しやすく、維持管理がむずかしくないもの ・生きものが継続して利用可能できる樹木や多年草であるもの ・見た目が美しく、華やかな印象をもつもの	特におすすめの在来種リスト(30 種) ※リストの再検討により、適さない種を除外	なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドラインに掲載

- 記載した在来種の中には取扱いに注意を要する種もあります。備考欄に注意事項を記載していますので、ご確認の上検討をお願いいたします。

<本資料に掲載する範囲>

